

2024年11月20日

3社の「SDGs宣言」策定を支援

～地元企業のサステナビリティ経営をサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先3社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのサステナビリティ経営をサポートする伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

あわせて、さいたま市の「SDGs企業認証制度」^注申請支援も行っております。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのサステナビリティ経営の取組み支援などに注力してまいります。

注 「さいたま市SDGs企業認証制度」

- ・さいたま市が2021年より開始した、SDGsの理念を尊重した経営を推進する市内企業を認証する制度で、企業の持続的成長に向けた取組みを後押しすることを目指しています。
- ・当行は、市内企業のサステナビリティ経営推進に貢献するため、さいたま市との包括連携協定に基づき、「むさしのSDGsコンサルティング」のサービスメニューに本制度の認証取得に向けた支援を加えています。

≪「SDGs宣言」策定企業≫

- (1) 株式会社 JPスタッフ
- (2) 瑞伸建設工業 株式会社
- (3) 有限会社 内田造園土木（さいたま市SDGs企業認証制度申請支援）

以上

報道機関からのお問い合わせ先
法人コンサルティング部 コンサルティング営業室 細川 朝之
TEL (048) 641 - 6111 (代)



《SDGs宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企業名	株式会社 JPスタッフ	瑞伸建設工業 株式会社
代表者	代表取締役 竹内 孝治	代表取締役 田村 芳人
所在地	東京都豊島区南池袋1-16-5 ダイヤゲート池袋5階	埼玉県ふじみ野市福岡字天神廻163-1
業種 および 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者派遣事業 ・職業紹介業 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事業 ・下水道工事業
創業 または 設立	2016年2月17日	1969年5月28日
宣言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・『ガンバル』と『ありがとう』をつなぎ、持続可能な社会の実現に貢献していく ・多様な人材が活躍できる派遣会社を目指す ・派遣会社の責任として事業継続可能な体制を構築していく ・環境にやさしい会社を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献する ・安心と安全をお届けする技術力の研鑽を続ける ・働きがい向上や多様な働き方に配慮した制度を導入し、ダイバーシティ経営を実践していく ・土木工事業の責任として環境経営を進めていく

企業名	有限会社 内田造園土木
代表者	代表取締役 内田 秀男
所在地	埼玉県さいたま市緑区芝原3-37-6
業種 および 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事業 ・造園工事業
創業 または 設立	2001年11月16日
宣言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・故郷への感謝を忘れず、地域貢献活動を通じて持続可能な社会を実現していく ・職場環境改善、健康、働きがい意識した制度導入により従業員の物心両面の幸福を追求する ・土木工事を通じて持続可能なまちづくりに貢献していく ・地域や顧客にやさしい環境経営を目指す



2024年10月18日

株式会社 JPスタッフ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 竹内 孝治

SDGsの達成に向けた取り組み

『ガンバル』と『ありがとう』をつなぎ、持続可能な社会の実現に貢献していく

- 当社は所沢市を拠点とし、人材派遣業を行っております。2007年の創業以来、『国籍』『年齢』『性別』に関係なく全ての人々が生き生きと働ける会社を目指してきました。
- これからも、派遣スタッフや派遣先企業様の『ガンバル』と『ありがとう』をつなぐことで、持続可能な社会実現に貢献していきます。
- そのために、派遣先企業数の増加を目指していくほか、派遣スタッフの様々な待遇改善への取り組みを実施していくことに加え、従業員の待遇改善も図っていきます。
- また、地域イベントへの参加や協賛を継続していくことで、お世話になっている地域への貢献も続けていきます。



【指標】

派遣スタッフの待遇改善を意識した取り組みの実施数	⇒ 2030年 累計 5件
派遣先企業数の増加 2024年 30先	⇒ 2030年 60先 (+30先)
有給休暇取得率の向上 2023年 平均30%	⇒ 2030年 平均70% (+20%)
地域イベントへの参加や協賛の数	⇒ 2030年 5件

多様な人材が活躍できる派遣会社を目指す

- 当社は派遣スタッフへの教育にも力を入れていますが、今後は更にイーラーニングや資格取得支援、外国人スタッフへの研修等に力を入れ、多様な人材が活躍できる派遣会社を目指します。
- また、多様な働き方に関する制度も充実させ、今後も女性を積極的に採用していくほか、女性のリーダーや管理職を計画的に育成していきます。



【指標】

女性リーダーや管理職の配置 2024年 なし ⇒ 2030年 管理職またはリーダー 2名 (+2名)

派遣会社の責任として事業継続可能な体制を構築していく

- 派遣会社の責任として各種労働関連法令等の遵守を徹底していくほか、情報管理体制の構築により個人情報保護と機密情報保持に努めていきます。
- また、多発する災害に関しては、社内はもちろん派遣スタッフに対しても事業継続可能な体制を整備していきます。



環境にやさしい会社を目指す

- 環境にやさしい会社の責任として、業務の効率化や電子化によりペーパーレス化を進めていきます。
- また、事務所の省エネ（照明、空調、営業車両のハイブリット車への切り替え、他）を進め、CO2排出量の削減にも努めていきます。



【指標】

コピー用紙使用量の削減 2023年 45,000枚/年 ⇒ 2030年 22,500枚/年 (▲50%)





瑞伸建設工業 株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 田村 芳人

SDGsの達成に向けた取り組み

土木工事を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献する

- 当社は創業以来55年にわたり、ふじみの市を拠点として、暮らしの中で欠かすことのできない『交通インフラ』や『上下水道』の工事を行っております。
- 今後も、『地域社会と顧客に必要とされる会社を目指し、常にたゆまぬ技術の向上と組織の充実』に努めています。そのため、埼玉県発注の土木工事受注数を増加させていほか、彩の国ロードサポート活動への積極的な参加や、様々な社会貢献活動にも取り組んでいきます。

【指標】

埼玉県発注土木工事の受注数 2024年 3件/年 ⇒ 2030年 10件/年 (+7件)
彩の国ロードサポート参加 2024年 2回/延べ20名 ⇒ 2030年 3回/延べ50名
社会貢献活動への取り組み(寄付等) 2024年 3社 ⇒ 2030年 8社 (+5社)



安心と安全をお届けする技術力の研鑽を続ける

- 『国家資格』の資格取得者が多いことが当社の強みであることから、今後も業務に必要な資格取得者を増やしていきます。
- そのため、資格取得の支援(講習費、実費、他)を継続していくほか、ベテランが若手に技術指導を行う(社内講習会、マニュアル等の整備)ことで、技術の承継を行っていきます。
- また、従業員を業界団体の研修制度に積極的に参加させることで、生涯学習の充実と技術の研鑽を継続していきます。

【指標】

継続学習制度(CPDS)への参加者数 2024年 延べ10名 ⇒ 2030年 延べ30名 (+20名)



働きがい向上や多様な働き方に配慮した制度を導入し、ダイバーシティ経営を実践していく

- 従業員の健康管理、働きがいのある職場や働き方改善につながる仕組み(職場改善、健康診断項目追加、新たな休暇制度、福利厚生の充実、他)を導入していきます。
- 多様な働き方に関する制度も充実させ、今後も女性を積極的に採用していくほか、女性の現場担当者育成にも力を入れていきます。

【指標】

働きがいや働き方改善につながる仕組みや制度の導入数 ⇒ 2030年 累計5件
女性従業員数の増加 2024年 4名 ⇒ 2030年 6名 (+2名)



土木工事業の責任として環境経営を進めていく

- 会社全体としてCO₂排出量の削減(環境配慮型車両や重機への入れ替え、再生可能エネルギーの利用、他)に取り組んでいきます。
- 業務の効率化や電子化を進め、更に一段とペーパーレス化を進めていきます。

【指標】

電気使用量の削減 2023年 36,944kWh ⇒ 2030年 25,860kWh (▲30%)
ガス使用量の削減 2023年 1,148m³ ⇒ 2030年 344m³ (▲70%)
コピー用紙使用量の削減 2023年 244,000枚 ⇒ 2030年 195,200枚 (▲20%)





有限会社 内田造園土木 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 内田 秀男

SDGsの達成に向けた取り組み

故郷への感謝を忘れず、地域貢献活動を通じて持続可能な社会を実現していく

- 当社はさいたま市を拠点とし、土木工事や造園工事、インフラの維持管理工事等を行っております。
- 当社は、地域貢献活動にも積極的に取り組んできました。例えば、地元区役所と連携した駅前花壇交換事業は、障がい者の方々へ働く場を提供しており、代表の空手教室は、子ども達へ武道を学ぶ機会を提供しています。
- 今後も、様々な地域貢献活動に取り組んでいくほか、地域行事へも積極的に参加し、持続可能な社会の実現を目指していきます。



【指標】

地域貢献活動の数 ⇒ 2030年 累計 5種類実施

職場環境改善、健康、働きがいを意識した制度導入により従業員の物心両面の幸福を追求する

- 従業員の健康が第一であることから、従業員の健康管理を応援していくほか、様々な職場環境の改善、働きがい向上につながる制度等を導入していきます。
- 具体的には、新本社の建設、週休2日制の導入と有給休暇取得日数の向上、資格手当の引き上げ、産休・育休制度の導入、女性リーダーの配置、他を行っていきます。
- また、今後も地元人材を積極的に採用し、施工技術の承継者として育成することを通じ、地域貢献を行っていきます。



【指標】

従業員の職場環境改善、健康、働きがい等を意識した改善や制度の導入数 ⇒ 2030年 累計5件
 地元人材の新規採用数 ⇒ 2030年 累計5名
 有給休暇取得日数 2024年 平均5.5日 ⇒ 2030年 平均10日

土木工事を通じて持続可能なまちづくりに貢献していく

- これからも、老朽化している道路や上下水道の維持管理、道路のバリアフリー化を通じて持続可能なまちづくりに貢献していきます。
- また、インフラの維持管理工事を行うことで、多発する自然災害から地域の方々の生活を守っていきます。加えて、環境保全や緑化事業を通じて緑豊かな街づくりにも貢献していきます。



地域や顧客にやさしい環境経営を目指す

- 現場での産業廃棄物の分別管理を徹底するほか、今後も工事現場で伐採した木材を、木材チップ業者へ販売することでリサイクルを行っていきます。
- 事務所や現場で可能な限りの省エネ（照明、空調、車、重機、紙類、他）を進め、CO2排出量を削減していきます。

